

## 2021年度第1回「放送倫理・番組向上機構」理事会 議事録

1. 日 時 2021年5月31日(月) 午後2時～3時
2. 場 所 BPO会議室を開催場所とするオンライン会議
3. 出席者 大日向雅美 理事長  
渡辺 昌己 専務理事 畑野 祐一 理事 (事務局長)  
岩田喜美枝 理 事 山極 壽一 理 事  
正籬 聡 理 事 皆木 弘康 理 事  
佐々木 卓 理 事 永原 伸 理 事  
北川 武司 監 事 本橋 春紀 監 事
- ※大日向理事長あて委任状 出口 治明 理 事
- ※大日向理事長、渡辺専務理事、畑野理事は、BPO会議室より出席
4. 議 題 (1) 2020年度 業務報告について  
(2) 2020年度 決算報告について  
(3) その他
5. 配付資料 (1) 2020年度 業務報告書 (案)  
(2) 2020年度 決算報告書 (案)  
(3) 正味財産増減計算書の概要(前年度比)  
(4) 正味財産増減計算書の概要(予算比)

---

### <参考資料>

- ◇ BPOパンフレット
- ◇ 放送倫理・番組向上機構 規約

## 6. 議事

BPO規約第15条第3項に基づき理事会議長である大日向理事長の開会宣言を受け、畑野理事・事務局長から「出口理事から大日向理事長宛てに委任状が提出されており、理事総数10名のうち委任状を含め理事会開催に必要な過半数の理事の出席があることから、BPO規約第15条第2項の定めにより、理事会は有効に成立する。」旨の報告があった。

新たに就任した理事の自己紹介があった。

渡辺 昌己 専務理事 2021年4月1日就任（竹内淳専務理事の後任）

岩田喜美枝 理事 2021年4月1日就任

山極 壽一 理事 2021年4月1日就任

※出口 治明 理事 2021年4月1日就任（委任状提出）

任期継続中の理事から自己紹介があった。

新たに就任した監事の自己紹介があった。

本橋 春紀 監事 2021年4月1日就任（渡辺昌己監事の後任）

任期継続中の監事から自己紹介があった。

畑野理事・事務局長から、資料について説明があった。

以上を受けて、議事に入った。

### 議題(1) 2020年度業務報告について

畑野理事・事務局長から、2020年度のBPO活動について、資料(1)「2020年度業務報告書（案）」に基づき、次のとおり説明があった。

- 3委員会とも、コロナ禍のなかでも、オンライン開催もしくはハイブリッド開催で例年並みの活動を行った。
- 放送倫理検証委員会は、6件の委員会決定を通知・公表し、1件の委員長談話を公表した。「番組内容が広告放送と誤解される問題について」の委員長談話については、オンライン併用の意見交換会を開催し、300人以上の参加があった。
- 放送人権委員会は、5件の委員会決定を通知・公表した。中でも「リアリティ番組出演者遺族からの申立て」に関する決定は、多くの関心をよんだ。
- 青少年委員会は、2020年度に審議入りした事案はなく、3件について討論した。調査研究では「青少年のメディア・リテラシー育成に関する調査」に取り組み、加盟各局にアンケートを送付した。2021年度に調査結果をとりまとめる。中高生モニターを集めて東京で開く予定だった会議は、コロナ禍のため開催を見送った。
- 視聴者意見の総数は大きな変化はない。意見の9割近くはメールによるものとなっている。
- 委員会共通活動として開催している事例研究会は7月開催のみとなった。その代わ

りに、3月に開催した年次報告会はオンラインを併用して開催し、事例研究会の要素を折り込んだ内容とした。

○広報活動としては、2019年度に制作したBPO告知スポットを、2020年度加盟各局に配付し放送してもらった。2021年度も引き続き放送をお願いしていく。講師派遣はオンラインを活用し、参加者は前年より増えた。

この説明を受け、次の意見交換があった。

- ・これからはオンラインのメリットも生かしながら、ハイブリッドで賢くやっていくことが大事だと思う。中高生モニター会議について、オンライン開催しなかった事情を知りたい。
- ・(畑野理事・事務局長) 夏休み時点では担当の放送局や事務局の態勢が整っていなかった。春休みの開催も目指したが、最終的には委員長判断で中止とした。代わりに、委員から中高生モニターにビデオメッセージを送る準備を進めている。
- ・中高生モニター33人の選定基準は何か。
- ・(畑野理事・事務局長) 報告を送ってしてくれた中高生モニターに対し、委員が分担して一人一人とやりとりをするため、30数人が上限と考えている。男女と学年のバランスを取っている。
- ・震災や核などの重い課題は受け止め方に地域差があるので、モニターが住んでいる地域についても配慮してほしい。

以上の意見交換の後、2020年度業務報告書(案)の承認について賛否を諮ったところ、全会一致で承認された。

## 議題(2) 2020年度決算報告について

渡辺専務理事から、2020年度のBPO決算について、資料(2)「2020年度決算報告書(案)」に基づき、次のとおり説明があった。

- 経常収益は、NHK・民放連・民放各社からの会費収入と雑収益を合わせて、ほぼ予算どおりの4億514万円だった。
- 経常費用のうち事業費は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各委員会とも放送局との意見交換会が中止となったことなどで、委員報酬や旅費などが予算残となった。視聴者対応については、緊急事態宣言中の電話対応を休止したことにより、予算残となった。一方でオンライン会議やリモートワークに対応するため、ソフトウェアのライセンス料やハードウェアの整備に伴う支出増はあったが、事業費

計としては2,524万円の予算残となった。

また、管理費のうち、人件費と事務所費についてはほぼ予算どおりの執行となった。事務諸費については、新型コロナウイルス対策のための消耗品費や減価償却費が増えたことにより、予備費177万円を使用した。旅費などの支出が進まなかったため、管理費計としては69万円の予算残となった。

経常費用の総額は4億878万円となり、2,594万円の予算残となった。

- 2019年度決算との比較でみると、経常費用が853万円増加した。放送人権委員会の審理案件が増えたこと、新型コロナウイルス対策に伴う費用が増えたことによる。
- 当期経常増減額はマイナス364万円、経常外損益が発生しなかったため当期正味財産増減額もマイナス364万円、一般正味財産期末残高は1億448万円となった。
- 3月末時点での財務状況は、NHK・民放連・民放各社からの拠出に支えられ安定している。

続いて、北川監事から「5月26日、本橋監事とともに2020年度の業務および決算について説明を受け、会計帳簿等を監査した結果、役員の業務執行状況は適正であり、会計処理も規程に基づいて適正に処理されており、決算報告書の記載内容は正確であることを確認した」と報告があった。

この2件の説明を受け、次の意見交換があった。

- ・当初予算で単年度2,963万円の赤字予算を組んでいたが、どういう理由なのか。期末正味財産残高についてはどのように考えているか。
- ・(渡辺専務理事) BPOの経常費用は委員会の審議・審理案件の数によって左右される。2020年度予算は案件の増加を見込んだことや、委員と調査役を増員したことが影響した。期末正味財産残高の約1億円は、受取会費の四分の一に相当する規模であり、会費の入金が6月から7月にかけてとなるため、その間の運転資金を考慮すると適正な規模であると考えている。

以上の意見交換の後、2020年度決算報告書(案)の承認について賛否を諮ったところ、全会一致で承認された。

### 議題(3) その他

最近の動きについて、渡辺専務理事から次のとおり報告があった。

- 評議員会では、4月の書面開催により議長に遠山友寛評議員を選任し、議長代行に里中満智子評議員が指名された。
- 放送倫理検証委員会は4月9日に開催され、新委員長に小町谷育子委員を選任し、

委員長代行に岸本葉子委員と升味佐江子委員が指名された。

また、この日の委員会では、日本テレビの番組「スッキリ」の中でアイヌ民族に対する差別発言があったとされる件について、審議入りすることを決定した。

○放送人権委員会は4月20日に開催され、新委員長に曾我部真裕委員を選任し、委員長代行に鈴木秀美委員と二関辰郎委員が指名された。5月も開催されたが現時点で審議入りしている事案はない。

○青少年委員会も4月と5月に開催されたが、現時点で審議入りしている事案はない。中高生モニター35名からのモニター報告を基に意見交換を行っている。

○緊急事態宣言発出に伴う事務局の対応については、テレワークを活用した業務を推進し、視聴者からの電話対応を休止している状況である。

以上を受けて、次の意見交換があった。

- ・視聴者意見はメールによるものが多いということだが、高齢者にとっては意見を寄せにくいということはないか。また、同一人物が複数の意見を送っていることについてはどう考えているか。

- ・(畑野理事・事務局長) 視聴者意見は郵便やファックスでも受け付けているが、高齢者への配慮は考えなくてはいけないと思う。メールによる意見は、インターネットで炎上したことをコピーペーストして送ってくるものも見られる。同じ意見を複数回送ってくる人の数を把握できるシステムにはなっていない。

- ・10代の意見が少ない。中高生モニターでカバーできているということか。

- ・(畑野理事・事務局長) 中高生モニターは数が限られているためカバーできているとは思わない。インターネット上での動きも注意しながら対応している。

以上の意見交換の後、大日向理事長から「BPOは、第三者機関として会員各社からの会費で成り立っている。その意義を大切にするためにも、本日いただいた貴重なご意見を生かすよう検討して参りたい」と発言があり、すべての議事を終了し閉会した。

以上